

2011年10月吉日
日本テレビ放送網株式会社



NTV DIGITAL MEDIA EXHIBITION

東日本大震災により、被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

～日テレ発、テレビの未来～

日本テレビの技術展示会「デジテク 2011」をご案内させていただきます。
本年3月に開催を予定していた技術展示会「デジテク 2011」は、東日本大震災の影響により延期させて頂いておりましたが、下記日程で開催させて頂くことになりました。

テレビの未来を映し出す日テレ発のデジタル技術、新サービスの展示をご覧いただきたく、皆様のご来場をお待ちしております。

<http://www.ntv.co.jp/tech/pdf/digitech2011.pdf>

■開催期間

2011年10月5日(水) 11:00~18:00

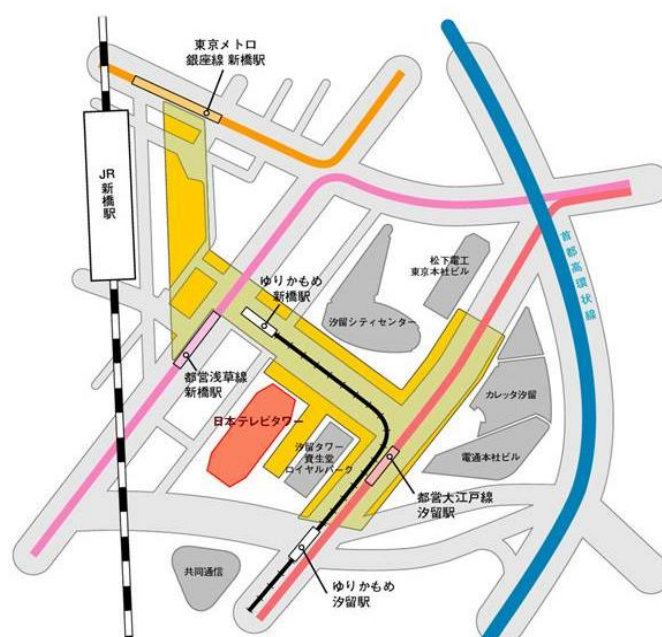
2011年10月6日(木) 11:00~17:00

■開催場所

汐留日本テレビタワー2F 日テレホール A,B,C

■受付場所 日本テレビタワー2F「デジテク」受付

入場無料、事前登録不要(受付にて名刺2枚を提出願います)



お問い合わせ

日本テレビ 技術統括局 技術戦略センター 技術開発部

TEL 03-6215-3716 担当：佐藤、土居

エントランス展示

- E1 メガネなし 3D デジタルサイネージ
メガネなしで視聴可能な 3D コンテンツを迫力の大型ディスプレイで体験してください。
- E2 マルチタッチ・インフォメーションボード
画面を川のように流れるデジテクの情報や新番組の情報にタッチしてみてください！
- E3 ジェスチャーコントロールディスプレイ
空中に手を伸ばして、ジェスチャーでコンテンツを操作！新しい動画の楽しみ方をご体験ください。

番組制作支援

- 1 地デジ機能を活用した番組展開例
2011年2月26日～3月6日に放送したスペシャルドラマ「桜からの手紙～AKB48 それぞれの卒業物語～」での、マルチ編成、AR アプリ、新企画データ放送についてご紹介します。
- 2 データ放送の取り組み
視聴者が住んでいる地元天気が自動的にスーパーインポーズされたり、番組進行に合わせたガイドなど、新しいデータ放送の活用事例をご紹介します。
- 3 リニア編集用万能ファイル再生装置
～リニアとノンリニアの架け橋技術～
様々なファイル素材を、従来のリニア編集機から VTR のように取り扱うことができる万能再生装置です。抜群の JOG/SHUTTLE 感覚を体感下さい。
- 4 VHF 帯デジタル・ナロー連絡無線デモ
報道や中継の現場で活用している VHF 連絡無線は、2014年5月末を目標に新方式に移行します。その候補である 4FSK 方式無線機を体感して頂きます。
- 5 FPU 波の光伝送による遠隔受信システム
FPU の受信電波を光ファイバーで本社まで伝送する遠隔受信システム。いよいよ東京スカイツリー受信基地で本格的に実用化します。
- 6 「Eco-to 美 ion」～スーパースロー再生でも綺麗に表示できる高速 LED 表示装置～
スポーツ中継の背景等に LED 電子看板が多く見かけられます。スーパースローカメラで再撮した時に原理的に生じていた不体裁を解決しました。
- 7 「ニンテンドー 3DS」への
日テレ制作 3D コンテンツ配信
日本テレビがグループ会社 AX-ON の制作協力、NiTRo の技術支援でコンテンツ配信を行っているニンテンドー 3DS 向け 3D 動画配信サービス「いつの間にテレビ」を実機でご覧いただけます。
- 8 日本テレビの 3DTV への取り組み
昨年実施した 3D 野球中継をご覧頂きながら、日テレの 3D への取り組みをご紹介します。
- 9 低遅延簡易映像伝送システム
IP 網を活用した「低遅延送り返しシステム」をベースに逆方向である中継現場から放送局までの簡易伝送機能を追加しました。
- 10 地デジ AC 信号による
低遅延 OA 音声モニタ装置
地上デジタル放送の OA 音声を低遅延で確認できる受信装置で、小型化した試作機を展示致します。ヘリコプターでの活用が期待されます。

放送インフラ

- 11 サーバ仮想化技術の放送応用
～データ放送設備での仮想化技術検証～
サーバ仮想化技術は、IT システムリソースを有効に活用する最新技術です。今回は、データ放送設備に応用した事例を紹介します。
- 12 ファイルによる番組交換の一検討
～可搬メディアとしての LTO とファイル暗号化～
LTO は、VTR に代わるファイルベース番組交換用可搬メディアの候補として期待されています。暗号化によるセキュリティ機能とあわせて紹介します。
- 13 CM 字幕チェッカー
CM 字幕の運用では、限られた時間内で表示・消去を行い、前後の CM に影響が無いよう搬入時の確認が重要です。その確認を簡単・正確に行う装置です。
- 14 音声ラウドネス
放送する音声信号の聴感上の音量差を評価する新しい指標である「ラウドネス」について実機展示により紹介します。
- 15 アンシラリー自動監視装置
テレビジョン中継回線の補助信号領域 (VANC) には、局間制御信号や字幕データが重畳されています。これらの信号を自動監視する装置です。

放送・ネットの新サービス+日テレビビジネストライアル

- 16 次世代 EPG
～新しい電子番組表の提案～ 多くの人が今興味を持っている話題を扱った番組を紹介し、視聴者の番組選びをサポートします。日テレが考える次世代 EPG の第一弾！
- 17 テレビの話テレビで話す TV メッセンジャー
Twitter 連携とオーバーレイ 「TV メッセンジャー」は、2008 年の実用化以降も年々進化しています。今回は Twitter との連携やオーバーレイ・モードを紹介します！
- 18 日テレアプリ 今後益々市場拡大するスマートフォンやタブレット型端末に向けて、日テレの強みを活かした「アプリ」を開発・発信していきます。
- 19 日テレソーシャルゲーム 現在急成長を続ける「ソーシャルゲーム」。日テレはテレビ局ならではの企画力を生かし、番組と連動したゲームを開発・発信しています。
- 20 新サービスの番組展開
～日本テレビ IT 情報番組「iCon」～ 世の中の最新テクノロジー、メディア、サービス等を活用しテレビを更に面白くすることを目指す野心的な番組です。毎週月曜日深夜 25:29 放送中

地上デジタル放送関連機器

- 21 簡易ミニサテ装置 地デジのラストワンマイルとして、ミニサテ局を多数構築する必要があります。各地で低コストにミニサテ局を建設に取り組む事例を紹介します。
- 22 中継局用デジタルスケルチ装置「デジ助」 デジタル放送波中継局で、送信機の起動/停止の制御を妨害波の影響を受けずに安全に行う装置です。CATV 局でも活用され始めました。
- 23 ID チェッカー「波～助」 地上デジタル放送には、放送局を特定する ID が載っています。ID を検知して放送局を特定する本装置が、中継局建設の事前測定等で活躍しています。
- 24 スペクトラム ID アナライザ「SpeId」 中継局などでの地上デジタル放送波のフィールド測定や簡易的なチェックを行う際にスペクトルも確認できるポータブルで低コストな装置です。
- 25 電波測定・監視装置
チャンネルチェッカー「見張るチャン」 地上デジタル放送の電界強度や電波の品質などを簡易に確認する装置です。今後、VHF 帯のマルチメディア放送などの対応も検討中です。

災害時の放送の役割～放送は何ができるか？～

- D1 東日本大震災における対応 東日本大震災における日本テレビ技術各部門の動きについてパネル紹介致します。
- D2 超高解像度化技術
(福島原発定点カメラの映像) 完全 HD 化された今後こそ、過去のアナログ映像等を高画質化する技術が有効です。超解像技術によりニュース映像を高画質化した例をご覧ください。
- D3 NNN の新速報システム ニュース速報システム更新では、土砂災害警戒や河川洪水予報等多様な情報解析を可能にするとともに、色弱者に配慮した津波地図デザインを実現しました。
- D4 緊急地震速報の高速化への対応 地上デジタル放送の緊急地震速報がアナログ放送に比べ遅延することへの対策として文字スーパー（非同期字幕）を利用した運用が開始されました。
- D5 送出システムの災害対策 送出システムは、放送を死守するため三重化され万全を期していますが、システム自体の被災・障害をも想定した更なる簡易送出システムを構築しました。
- D6 25 時間連続の字幕放送 3 月 11 日に発生した東日本大震災報道に際し、25 時間にわたリアルタイム字幕放送を継続しました。これに対し全日本ろうあ連盟から感謝状を頂きました。
- D7 Twitter を活用した災害情報配信 テレビ視聴ができない被災者や帰宅困難者向けに震災の当日から 3 日間、報道局の持つ災害情報を Twitter で配信しました。
- D8 可搬型衛星伝送装置 事件事故のニュース現場からの中継では、中継車の SNG、FPU がフル稼働しますが、衛星中継車が入れない現場では可搬型衛星伝送装置が活躍します。

- D9
取材・中継用ヘリコプター
ニュース報道の映像取材にヘリコプターは不可欠です。東北大震災の報道でも活躍した日本テレビのヘリコプターの設備を紹介します。
- D10
放送と連携したデジタルサイネージの提案
データ放送からニュース・天気予報等の情報を抽出、デジタルサイネージ画面に提示します。特に、災害発生時には、放送の威力を最大限に発揮します。
- D11
放送局のエコ活動 LED照明
省エネルギーの観点から放送用照明にもLEDの採用が始まっています。今回の展示用照明には、一部LEDライトを使用しています。
- D12
地デジギャップフィル+エリア限定放送
地デジ用のギャップフィル装置を活用して、その地域の情報をエリア放送として同時に送信できる装置です。
- D13
緊急災害対策用簡易ミニサテ装置
緊急災害時に中継局の送信機が被災するケースを想定し、いち早く復旧させることを目指す緊急災害用可搬地デジ簡易ミニサテ装置を検討しています。

招待展示

- I1
モバイル回線を複数使用した可搬型伝送システムの開発【読賣テレビ】
リアルタイム映像伝送を行うモバイル中継システムです。複数回線を使用することで、従来製品と比較して画質が格段に向上しました。
- I2
テレビをもっと面白くするデータ放送 テレビで収穫「咲くっチュ！」【中京テレビ】
テレビでお花を育てるデータ放送ゲーム「咲くっチュ！」。携帯とテレビを連動させた、新しいデータ放送の楽しみ方をご紹介します。
- I3
3D マルチチャンネル映像・高圧縮伝送デモ【中京テレビ】
次世代の映像圧縮技術MVCにより、視聴者が3Dカメラ映像を自由にスイッチングできるネット配信サービスが可能となります。
- I4
携帯端末向けマルチメディア放送「モバキャス」【mmbi】
アナログテレビ停波後の周波数を利用して提供する、携帯型端末での利用を想定した、放送と通信のそれぞれの特徴を連携したサービスです。
- P1
日テレ体験教室の紹介
今年度の日テレ体験教室開催実績を、パネルと映像で紹介します。